

教科	国語	単元名	海の命
----	----	-----	-----

本時のねらい

- ・「海の命」を読んで、初発の感想を書く。

本時における1人1台端末の活用方法とそのねらい

- ・Zoomを活用して、オンライン授業を実施する。
- ・デジタル教科書の読み上げ機能や表示方法の変更を用いて、一人ひとりに合った読みの速さと画面で、「海の命」の教材文と出会い、物語の世界観を感じ取る。

活用したデジタル教科書・ICT機器・デジタル教材等

- ・ iPad ・ オクリンク ・ デジタル教科書 ・ AppleTV ・ Zoom

本時の展開

学習の流れ	主な学習活動と内容	ICT活用のポイント・工夫
導入 (15分)	<ul style="list-style-type: none"> ○スピーチのテーマを提示し、Zoomのブレイクアウトルームで2人～3人を1グループにして、全員スピーチを行う。終了後はグループの代表が、グループのスピーチの内容を制限時間内に要約して発表する。 ○単元の新出漢字の学習を行う。 	<ul style="list-style-type: none"> ○授業への参加意欲を高めるため、スピーチ等の全員参加の活動を設ける。 ○紙と鉛筆で取り組むか、デジタル教科書の漢字練習機能で取り組むかのどちらかを児童自身が選べるようにする。
展開 (20分)	<ul style="list-style-type: none"> ○「海の命」の朗読を聞く。 ○オクリンクで初発の感想を書き提出し、お互いの感想を読み合い共有する。 	<ul style="list-style-type: none"> ○デジタル教科書の読み上げ機能や表示方法の変更を用いて、一人ひとりに合った読みの速さと画面で朗読を聞く。 ○オクリンクで提出した全員の感想を見られる設定にしておき、お互いに読み合えるようにすることで、「何を書けばいいかわからない」という児童にとっての手立てとなる。
まとめ (10分)	<ul style="list-style-type: none"> ○本時の振り返り Zoomのブレイクアウトルームで本時の振り返りを行う。 	

1人1台端末を活用した活動の様子



写真1：ブレイクアウトルームを作成し、グループ活動を設定する様子



写真2：ルーレット機能を使ってグループの代表を指名し、発表につなげる様子



写真3：初発の感想をオクリンクに送り、全体で内容を共有する様子

児童生徒の反応や変容

- ・オンライン授業でも、普段から使っているデジタル教材、デジタル機器、アプリを使うことで落ち着いて学習することができた。
- ・子どもたち自身が自分に合ったやり方を選べることは、取り組みやすさや安心感につながっている様子であった。

授業者の声～参考にしてほしいポイント～

- ・iPad、デジタル教科書を使うことで、オンライン授業でも普段通りの学習ができた。
- ・オンライン授業では、スピーチ等の全員参加の活動を設けること等が、授業への参加意欲を高めるために有効であることがわかってきたが、これは普段の授業づくりにおいても大切な視点で、今後も全員参加できる授業改善を行っていきたい。